
R

メランコリー 13

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

R

【Nコード】

N4202C

【作者名】

メランコリー13

【あらすじ】

残酷なことを知っている「R」と、頭がおかしくなりそうな「僕」を書いた詩です。

(前書き)

エゲつない表現があります。

鼻血が出る

美しさもクソもない鼻血が

Rは今日も頭皮をかきむしる

何かがオカシイけど小卒じゃ説明できない

イツテエ

脳ミソがまた縮んだ

Rが家に来た

僕に見せてくれたビデオ

スゴイ広い砂漠

人を食べる人

飛行機が落ちて

沢山の人が死んでいく

そんで最後にRは眠った

全部嘘っぱちさ

昨日築いた大切も

飛行機突っ込んで吹っ飛ぶさ

なんでみんな笑えるんだ

僕とは違うってだけなのか

Rが笑うとき目が泳ぐ

死んだ魚が灰色の校庭を泳ぐ

今日母ちゃんが発狂した

これからは1人で生きていきます

水槽に金魚の死体

頭痛い

ねえR

僕に教えてくれ

君だけが見れるホントの景色を

君だけが聞ける耳を塞ぐべきことを

生きたかった人たちへの虐殺を

そのとき泣いていた

子供の声を

僕は狂った

ペンチで爪を剥がした

血でまみれた握りこぶしに

苦しいぐらい真っ赤な夕焼け

そっから先はララララ

夕日に染まったRの包帯

開け放された窓 オレンジ透ける白いカーテン

それが最後の風だった

飛び降りた

血の海で

僕らの心は

ちよっと痛んだ

僕は狂った

ペンチで爪を剥いだ

傷にシャーペンをつっ込んだ

真っ赤な血がRの血に混ざる

いたるところから響く心臓の音に
ああ脳ミソの中からは
Rと同じ苦悩が湧き上がる

家賃が払えなくて家出した
月と灰色の雲と
魚みたいな流れ星
もう目が乾いて死にそうだ
この痛みは僕とRを繋ぐ握手だ
この俯いた暗い道を
答えが出るまで歩いてやる

あの作り笑いは消えやしない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4202c/>

R

2010年12月14日22時01分発行